

若手・後輩社員に対する接し方は、

一方通行的な指示・指導に留まらず、

ゆつたりとした態度で接している姿が印象的です。

＊訓練前の状況を教えてくださいます。

当社は、大正2年創業の金属工作機械製造業で、長年にわたる「当社のものづくりを支え、大切にしなければならぬ技術・技能の継承と仕組みづくり」を展開してきましたが、昨今、様々な環境変化にも耐えうる強い会社づくりが求められてきています。そのような中、あらためて社員一人ひとりが会社の未来のために自ら考え行動するべく、更なる「社員の能力開発と組織体制の再構築」を推進する中、ポリテクセンターの生産性向上支援訓練を知ることができました。

＊訓練を利用した感想、および受講者や職場の変化はありませんか。

「中堅・ベテラン従業員への

役割・期待」等の理解や「若手・後輩・上司との良好なコミュニケーションの実現」等について、大変解りやすくご指導して頂きました。特に、世代間ギャップにより、若年層の育成に日頃から悩みを持っていた中堅・ベテラン社員にとっては、自身の求められる役割と共に、若手・後輩との良好なコミュニケーションを実践していくための手法が学べたことは、生産性向上に大いに寄与するものとして期待しております。

受講者も「職場での良好なコミュニケーション」が生産性向上に繋がることを理解し、日頃の業務の中で実践している姿を見受ける機会が増えてきているように感じています。

とりわけ、若手・後輩社員に対する接し方については、一方通行的な指示・指導に留まらず「相談や援助」も含めた「傾聴」

を心がけ、ゆつたりとした態度で接している姿が印象的です。

今後については、管理職の他、若手リーダーにも有意義な研修かと思えますので、機会があれば企画していきたいと考えています。

## 受講者の声

以前より後輩や自分より若い管理職との接し方や作業の教え方に悩みを持っていたので、今回のアサーティブなコミュニケーションの講習を楽しみにしていました。

今回受講して、アサーティブに伝えることが大切であり、それを意識し実践することが問題点を共有することに繋がると判りました。またこのようなコミュニケーションの方法があるということを知ったので他の面でも役立てたいと思います。

職場ですぐには、アサーティブなコミュニケーションは難しいですが、日々の作業にて続けていきます。これから後輩に教える時も共に問題を共有しながら解決できるように努力していき、後輩のスキルアップについても、アサーティブなコミュニケーションを肝に命じて教育していきます。

今後も後輩との良い人間関係を構築するため、小さなことでも褒めるように心がけて、適度な緊張感を持ちつつ、のびのびと成長して欲しいと思っています。一人でも多くの方が受講すれば、今よりもさらに良い人間関係が築けるのではないかと素直にそう感じました。

## 株式会社カシフジ

### 事業内容

金属工作機械の設計・開発、製造、販売

### 会社概要

京都市南区上鳥羽鴨田28番地

創業 1913年 従業員数 214人

### 利用訓練コース

中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成（令和2年12月）